

新横浜出張所だより

京浜河川のHPは <http://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/>

国土交通省関東地方整備局
京 浜 河 川 事 務 所
新 横 浜 出 張 所 発 行
電 話 0 4 5 - 4 7 6 - 5 0 0 3
2011年11月11日【第20号】

鶴見区駒岡5丁目で堤防補強工事が始まりました

H22駒岡堤防補強工事

通行止めおよび迂回路案内図



今年6月に完成した、駒岡5丁目2箇所 の堤防補強工事の中間部分の堤防工事と鷹野大橋付近の河川敷道路工事が11月から平成23年3月末まで行われます。

この道路部分は、平成22年3月に完成した『駒岡防災船着場』に、一般道から災害時における物資等の緊急輸送道路として、河川敷を通過して進入するための道路を造っています。鷹野大橋下流側に接続される予定です。

道路は、今年6月に完成した部分から下流側に幅6mの道路を造っています。施工延長は、約130mです。

また、堤防補強のための工事も行っています。施工延長は、約310mです。

この工事により、堤防上の道路などを通行止め(左図の青色で着色した線が迂回路)としていますので、近隣の看板等をご覧ください。沿川の皆さんへ ご迷惑をおかけしますが、よろしくお願ひします。

鶴見川流域水懇談会が10月30日(日)に開催されました

鶴見川流域水マスタープラン推進のために設置されている鶴見川流域水懇談会が開催され、河川の氾濫(外水)による被害を防止するための情報利用について、市民部会及び行政部会の委員約50名が意見交換を行いました。

3月11日の大震災を受け、市民の防災意識が非常に高まっている今、情報の総合化と一層の効率化を進め、それを積極的に利用するための啓発活動の取組の重要性を確認しました。

(写真は、会議の様子)



鶴見川河川敷でのバーベキューは後片付けをしてください



当出張所管内では、一般の方から『バーベキュー(BQ)出来る場所ありますか?』という問い合わせが増えています。これらの質問に、次のように回答しています。

- ①横浜市等で公園、緑地として占有しているところは、禁止されています。
 - ②護岸やコンクリートが打ってあるところも禁止しています。
 - ③直火は川自体を汚染するので、禁止しています。
- 最近、BQを行ったあと、ゴミを捨てて行かれる方が増えています。

河川敷を使われた方は、是非、ゴミを持ち帰ってください。よろしくお願ひします。

鶴見川の堤防上で犬の散歩に関するマナー守っていますか

私たちが散歩
させる時はル
ール守ってね



鶴見川の堤防で犬の散歩をしている皆さん『犬の散歩するときのマナー』を守っていますか？

川沿いの方や河川利用者の方から「犬のフンを片付ける看板を設置して欲しい。」「犬を放し飼いにして、散歩している人がいる。」などの意見・要望が増えています。犬の散歩をされる方は、次のことを守って欲しいなと思っています。(横浜市のホームページから)

①お散歩はエチケットを守って！

お散歩は運動のためにするもの。トイレタイムではありません。なるべくトイレはおうちですませるよう、しつけをしましょう。散歩中にトイレをしてしまった場合でも、**フンは必ず持ち帰り**、おうちで処理しましょう。また、ペットボトルに水を入れて持ち運ぶなどして、**おしっこをしたら流す**ようにしてください。

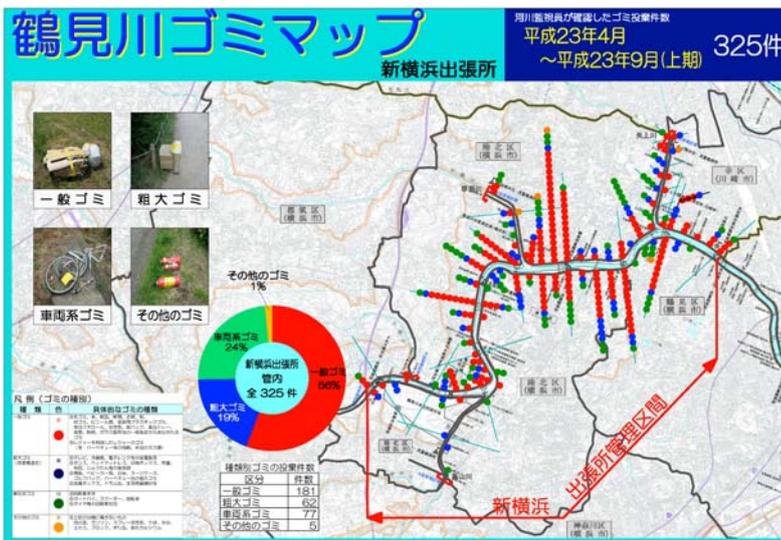
②リード(引き綱)をつけていますか。

おうちの敷地の外に出るときは、リード(引き綱)を付けていますか？横浜市動物の愛護及び管理に関する条例で、犬は係留することが義務付けられています。

お散歩のときなどは必ずリードを付けましょう。

リードを付けることで、犬が迷子になったり、思わぬ事故に遭うのを防ぐこともできます。

『河川へゴミを捨てる』と集めて処分する費用は税金です



京浜河川事務所では、河川に不法投棄されたゴミを収集・処分しています。

このゴミの収集・処分にはお金がかかっており、その費用はみなさんの税金から支払われています。河川へのゴミの投棄がなければ、必要のないお金です。

河川のゴミ投棄の実態をみなさんに知っていただくために、鶴見川等で行っている河川巡視で確認したゴミの場所を地図にしました。(平成23年度上半期分)

みんなが気持ちよく河川を利用できるように、ゴミを持ち帰るようにしましょう。半年分のゴミを掲載しました。

(左図面が鶴見川ゴミマップ)

あ と が き

10月末に堤防や河川の状況を確認するため、矢上川、早瀬川、鶴見川の一部を数名の職員で点検を行いました。9月末に来襲した台風15号により河川敷の木がかなり倒れましたが、これらの点検箇所では、堤防護岸上に溜まった土砂に根付いて生えているものが多く、大きくなり、強風が吹くと倒れやすいということがわかりました。

これらの樹木については、堤防に損傷を与える恐れがあります。また、川の中の樹木は、台風やゲリラ豪雨の際に急激な水位上昇を助長することも確認されており、計画的な伐採を進めていきたいと思っております。毎月、色々な視点から河川を診て歩くと違った鶴見川が見えてきます。

『新横浜出張所だより』編集長(上林喜美夫)

鶴見川流域センターに10月末までに約2万人が来館

JR小机駅の近くにある、地域防災施設『鶴見川流域センター』は、流域にお住まいの皆様への情報発信施設として、また、洪水や地震時の防災拠点となる施設です。

4月以降の合計来館者は20,194人で、昨年度実績の5割増しの来館者となっています。

10月は、3,000人余の方が来館していますが、中には小学生、保育園、幼稚園や生きがいアドバイザー協議会などの参加もありました。

今月も色々な催し物が行われていますので、是非来館して見てください。

【毎週火曜日が休館日です】

住所 横浜市港北区小机町2081

電話 045-475-1998

(鶴見川流域センター直通)